

平成27年度青森県公社等経営評価書

(平成26年度決算ベース)

法人名等				法人の自己評価(経営評価指標)		
19	むつ小川原石油備蓄(株)					
所管課名	エネルギー総合対策局エネルギー開発振興課					
決算状況 (単位:千円、%)						
出資	資本金	県出資額	県出資比率			
	50,000	17,500	35.0			
決算	前期純利益	当期純利益	利益剰余金			
	105,754	93,869	871,988			
資産	資産	負債	純資産			
	2,830,684	1,908,696	921,988			
財務分析指標						上記についての所管課の意見・評価
自己資本比率	総資産 経常利益率	県財政関与率	総資産回転率	売上高 経常利益率	【目的適合性】 ◎	
32.57	6.83	0.00	231.44	2.95	【国家石油備蓄基地の操業という国のエネルギー政策の一翼を担う事業について、設立当初から公益的役割を果たし、安定操業を継続している。】	
販売管理費 比率	人件費比率	流動比率	借入金比率			
6.02	17.92	315.92	0.00		【計画性】 ◎	
経営評価結果				【組織運営の健全性】 ◎ 【経営の効率性】 ◎ 【財務状況の健全性】 ◎		
評価区分	A:概ね良好			中期的な目標設定と併せて工事等に係る計画及び実績の分析・点検が行われており、状況を踏まえて経営改善に反映していく取組がなされている。		
<p>&lt;財務状況&gt; 財務の状況については、毎期安定的に黒字を確保しており、経営基盤は安定しているものと評価できる。</p> <p>&lt;経営状況&gt; 法人が自己評価した経営評価指標の項目については、各評価項目において、おおむね妥当なものと認められる。</p> <p>&lt;留意事項&gt; 当法人は、積極的な地元雇用及び地元調達を図り、地域振興に大きく寄与しているところは認めるものであるが、県においては、当法人の設立時において、県の出資割合が1%であったものの、平成16年2月の減資などにより35%へ引き上がった経緯もことから、他の石油備蓄基地等における状況も分析のうえ、県の関与の実情を踏まえ、適正・妥当な出資割合について、継続して検証していくことが必要と考える。</p>						
【財務状況の健全性】 ◎ 県からの財政支援や借入金がなく、継続して黒字が確保されており、財務面での健全性は確保されている。						